

平成23～26年度 小学校で使用する教科用図書の採択結果

第9回教育委員会定例会(平成22年8月5日)において、次のとおり採択されました。

教科(種目)	発行者	採 択 理 由
国語	光村図書出版(株)	伝統的な言語文化に関する指導の重視のために、各学年を通して、民話や短歌・俳句・古文などに親しめるように工夫されている。 また日本や郷土への関心・愛情を喚起する題材を取り上げるなどの工夫がされている。
書写	光村図書出版(株)	毛筆学習の理解を助けるために、濃淡の墨で筆圧や穂先の動きなどが分かるように工夫したり、学習内容がひと目で分かるようなマークを示したりしている。 他教科との関連や生活につなげたりする工夫がなされている。
社会	日本文教出版(株)2	「学習問題をつかむ」「調べる」「まとめる」という学習方法と進め方が示されている。 「学び方教室」で調べ方のポイントを示し、「ことばのまど」で用語の説明をしている。 問題解決的な学習を進めるには最も適している。
地図	(株)帝国書院	「地図のやくそくごと」として、方位、距離と縮尺等高線の表示、地図記号について分かりやすく説明している。 身近な三和、神石、油木、豊松の記述があり、本町の児童にも親しみやすい。 地図の色彩が濃く、土地の高低差が分かりやすい。
算数	(株)振興出版社啓林館	問題解決的学習をダイナミックに展開する一方で、教えるべきことを教える手堅い押さえがなされている。
理科	(株)振興出版社啓林館	「力だめし」に基本・活用の問題が示されている。 身近な生活に関連した話題を紹介し、理科を学習する意義を実感させるようにしている。 問題解決の過程では、言語活動を促す工夫がされている。
生活	(株)振興出版社啓林館	各単元で多様な学習活動を提示しているとともに、言語活動も多く仕組んでいる。 学校と生活をテーマに季節の変化、生活する人々や動植物の変化に気づけるよう配列の工夫がみられる。
音楽	(株)教育芸術社	第2学年以上は、2曲の鑑賞教材を聞き比べるという題材構成を取り入れ、曲の特徴をとらえやすいように工夫している。 また、ねらいとする内容に関して児童が書いたり話し合ったりしやすいように視点の提示や例示を工夫しており言語活動の充実が図れるように配慮されている。
図画工作	開隆堂出版(株)	題材を5項目に分類して系統的に配列してあり、つきたい力の明確さや自己評価との連動性など、明快な編集がなされている。
家庭	開隆堂出版(株)	身に付けさせたい基礎・基本の知識、技能には「ポイント」マークを表示し、写真等を多く活用して詳しく解説している。 また、実習や製作では、スモールステップで「できたかな」を設け、細かく繰り返し自己評価させ、基礎的・基本的な技能の定着を図る工夫をしている。
保健	東京書籍(株)	学んだことを生かし、これからの生活にどうつなげていくかの活用の欄を設けている。 学習内容を振り返り、自分の生活の課題とその解決の仕方を書くコーナーが設定されている。 色彩もよく、児童にとって最も扱いやすいものになっている。